



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

取り組みを具体化し8月末までに250,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！

「沖縄介護ウェーブのつどい2009」開催 民医連外からも多数の参加！
「この介護ウェーブの波をビッグウェーブに変え、厚労省の壁をぶち破りたい！！」（沖縄）



7月26日(日)に、豊見城中央公民館で「沖縄介護ウェーブのつどい2009」を開催し、273名の参加で大きく成功しました。民医連職員 133名、医療生協組合員 37名、民医連外事業所および一般参加 31事業所・103名の参加と、昨年同様、民医連外事業所からの参加が多く、介護改善の波が確実に広がっていることを実感しています。

つどいの第1部は、日本福祉大学の石川満教授による基調講演でした。沖縄県の貧困の状況、入院医療改革は着々と進み要介護者が地域に出されるのに受け皿である在宅ケアは確立していない状況、さらに、「介護保険は人を疑うシステムである」との介護保険の問題など具体的なデータで示されました。もっと危機感をもって真剣に考えないといけないことを痛感させられる素晴らしい講演でした。

第2部のシンポジウムでは、とよみ生協病院の介護支援専門員(民医連)、小規模多機能居宅事業所花日和の介護職員(民医連外)、浦添協同クリニック医師(民医連)、介護保険利用者家族の4氏から、それぞれの立場からの発言があり、介護保険の問題点と改善にむけての意見交流が深まりました。4月～6月の更新認定者の結果分析をし、新認定システムが軽度誘導化される内容であることを実証したとよみ生協病院の介護支援専門員からの報告は、翌日の県内新聞「琉球新報」でも大きく掲載されました。

フロアからの発言も活発で、老健かりゆしの里の介護福祉士(民医連)からの「この介護ウェーブの波をビッグウェーブに変え、厚労省の壁をぶち破りたい！！」との発言には、会場からも拍手喝采。その勢いに乗ってか？会場から



突然の提案によって行われた“ガンバロー三唱”には度肝を抜かれましたが、これも介護改善への輪が強まった証でしょう！民医連外事業所の職員から、「衆議院選挙を前にして、社会保障に関わるマニュフェストにきちんと目を通し、政策を元に一票を決めたいと思いました」との感想がありました。

介護保険制度改善に向け、私達にできることは何か？署名や怒りの声を発することもちろんですが、国の悪政にストップさせるよう選挙で意思表示をすることがとても重要です。

(2009年8月5日 沖縄医療生協本部・介護事業部 城間愛子さんより)

学習活動を追求し、各事業所で創意工夫の取り組みが進む！署名の裏面を使って職員同士で「署名お勧めのロールプレイング」で確認（埼玉）

子ども会の納涼祭で集めました……秩父生協病院



7月25日に秩父生協病院の駐車場を会場として、地元の「柳田阿保子ども会」による納涼大会が開催されました。生協病院からは組合員さんと職員も参加し、

健康チェックを実施。介護署名も88筆集めました。地域のみなさんとの交流の良い機会となりました。秩父生協病院では29日開催の地域医療連携会議でも署名協力のお願いをしています。あらゆる場面で署名への協力依頼をしている秩父生協病院です。

2事業所が協力して

……大井協同デイサービス・ふじみ野ケアセンター

大井協同デイサービスの生活相談員・西野さんとふじみ野ケアセンターのケアマネージャー・渋木さんは今年度から協同で近隣の事業所に毎月営業活動を実施しています。6月から7月にかけて市内外の18事業所を訪問。チラシと介護署名を持参し、介護ウェーブの趣旨と署名への協力を訴えています。前回のちちぶケアステーションと同様、署名への協力依頼から、業務レベルでの連携への広がりも期待できそうです。8月初旬からの訪問・回収が楽しみです。

社保・組織委員会で分担して

……熊谷生協ケアセンター

熊谷生協ケアセンターでは、「組織委員会」（組織、社保・まちづくりの合同委員会）がとりくみをリードしています。6月29日の朝会では全県学習・決起集会の報告を兼ねた学習が行われのをはじめ、7月16日には職員全体会でも学習にとりこんでいます。他事業所への協力依頼もこまめにとりくまれています。署名数もすでに400筆をうかがう勢いで、さらに広がりそうです。「とりくみ報告」もミニ学習から事業所訪問。実績表を届けに訪れた他事業所の職員への署名のお願いなど多彩です。この勢いを維持したいものです。

まずは全職員で学習と意思統一から

……生協ちちぶケアステーション

生協ちちぶケアステーションでは、介護ウェーブ担当を中心とりくみが進められています。何と！全県学習・決起集会以前の6月16日には職員全体会で介護ウェーブ学習会を開催し、①署名のとりくみ、②事業所への訪問を確認しています。「昨年は8月になってからの遅いとりくみだった…」という教訓を活かしてのものです。署名は現在155筆ですが、7月中旬以降ケアマネを中心に事業所への訪問も始まっています。昨年に続くものなのでこちらの訴えも理解していただけるものとなっています。署名の協力から、業務レベルでの連携への広がりも期待できます。今後の回収が楽しみなものとなっています。

署名のお願いをロールプレイで確認！……ケアセンターさきたま

ケアセンターさきたまでは、介護ウェーブ学習会を開催。はじめに埼玉方針の読みあわせを行いました。「利用者様やご家族へのおすすめはどのようにしたら…」には、署名用紙ウラ面を使って職員同士で署名お勧めのロールプレイングで確認しています。これまでにないとりくみです。看護師の石井さんは所属するサークルでミニ学習を行い。署名への協力を訴えています。学習会とロールプレイングが活かされたものとなっています。

（さきたま介護ウェーブ 2009推進ニュース No.4～6 2009年7月17日、24日、31日より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp